

みんなの学校

—地域とともにある学校づくり・まちづくり—

令和5年度
蒲郡中学校区
「学校運営協議会」だより
第2号
令和5年10月7日発行

蒲中学区学校運営協議会の使命

自分づくり 友だちづくり 地域づくり

蒲郡市地域学校共育推進プラン

子どもたちの未来は
このまちの未来

第2回蒲中学区学校運営協議会報告

10月7日（土）に第2回蒲中学区学校運営協議会が開催されました。今回の運営協議会では以下の2つの議案を大筋認めていただきました。

- (1) 各学校づくりの基盤となる「蒲中学区CSの使命と目的」
- (2) 各学校の学校改善PDCAの基盤である「学校評価」項目

また、その「使命と目的」をふまえて、「わたし（たち）のできること、

やってみたいこと」をテーマに「熟議」を行い、合意した「CSの使命と目的」への理解を深めました。代表校長あいさつ、提案、熟議を中心に協議会を振り返ってみます。

【第2回学校運営協議会】

- 1 はじめのことば
- 2 会長あいさつ
- 3 代表校長あいさつ
- 4 経過報告
- 5 協議
 - (1) 蒲中学区CSの使命と目的
 - (2) 学校評価アンケート
 - (3) その他
- 6 熟議
 - 「自分づくり」「友だちづくり」「地域づくり」
—わたしのできること、やってみたいこと—
- 7 おわりのことば



【廣中会長】

【代表校長挨拶】 —本日の協議会のポイント—

学校運営協議会委員の皆様、本日は第2回委員会にご出席いただきありがとうございます。蒲郡中学校区の学校運営協議会制度は、3年間の準備を経て令和5年度から始まりました。

児童生徒の育ちを学校が抱え込みすぎた状況が様々な課題を生み出しています。



【学校運営協議会の役割】 子どもの育ちの場は、家庭・地域・学校にあり、それぞれが繋がりをもち重要な役割を担っています。よく行政組織で使われる「縦割り行政」では、もぐらたたきの課題対応にしかありません。

この学校運営協議会はこうした状況にメスを入れることのできる権限をもった組織です。子どもが育つ学校や地域づくりの中心的な機関としての役割を私は期待しています。

明日の蒲郡、明日の地域社会を創る児童生徒の育ちと一緒に考えていきたいと思います。

【グランドデザイン】 本日は、各学校の学校経営方針や地域学校協働活動の方針を方向付ける「グランドデザインづくり」に着手します。そのための「基盤となる理念や考え」をご審議していただきます。

今日の審議や合意を経て、第3回会議には「学校や地域が共有すべきグランドデザイン」を提案させていただきます。さらに、「各学校の次年度の経営方針」の提案に繋げていきます。

【学校改善のための評価】 また、毎年、その年の実践を振り返るための「学校評価項目」についてもご審議いただきます。学校改善・課題の洗い出し・実践の効果検証のための評価項目として妥当かどうか、加除修正はあるかどうかご意見をいただき、12月の評価アンケート実施に繋げていきます。結果については、第3回の会議に間に合わせていきます。

その他では、学校運営や次年度人事に関するご意見があればご協議ください。それでは、よろしくお願ひ申し上げます。

【CSの使命と目的】

(裏面参照)

【大人が共有すべき理念】 蒲中学区の学校運営協議会がどこに向かっていくかということを示すグランドデザインをつくっていきます。これは、学校運営協議会委員、学校管理職、学校職員、PTAや家庭、公民館等、学校をとりまく大人たちが共有するものです。学校運営協議会制度の一番重要な点だと考えています。

この使命・目標は、各学校の学校経営方針や地域学校協働活動の方針を方向付けていきます。

現在までに、蒲中学区の管理職が集まる四校連絡会、役職を含めての拡大四校連絡会、地域健全育成協議会、先回の学校運営協議会等で、育てたい子ども像などを出し合って協議してきました。

【自分づくり、友だちづくり、地域づくり】

その中からキーワードを抽出し、「自分づくり」「友だちづくり」「地域づくり」の3つのカテゴリーにまとめました。そしてこの目標に向かって学校運営協議会が大事にしたい点を「2 蒲中学区CSの使命と目標」にまとめました。



大きく2つ。(目標達成のための2つの主要な戦略)

【社会に開かれた教育課程とチーム蒲中学区】

一つ目は、学校に於いて身につけるべき「資質・能力」、「学び方」や「学ぶ姿勢」を社会との連携協働により実現する、つまり「社会に開かれた教育課程」の実現です。

二つ目は、学校と地域・公民館がそれぞれ強みを生かした協働を進め、次代に繋がる地域社会、つまり「大人のチーム蒲中学区」を構築です。



蒲中学区小中一貫型CSのグランドデザイン（案）

— 教育の目標や手だて、地域や学校の役割を共有するための資料 —

1 はじめに

蒲郡中学校には、**生徒・保護者・地域社会が創り出した「蒲中宣言」（平成10年度策定）**がある。

中学校教育の在り方や蒲郡中の新しい校風創りについて三者が深めた末にできあがったものである。

蒲中学区小中一貫型CSの目標や使命を考える作業において、**四校連絡会、地域健全育成、学校運営協議会**等で「育てたい子ども像」を深めてきた。

蒲中学区の子どもにかかわる全ての人が、**目標や使命を共有するためのグラウンドデザイン**を構想する際に、「蒲中宣言」にある「自分づくり」「友だちづくり」「学校・家庭・地域づくり」の 카테고リーにまとめてみた。

このことで、**蒲中学区の独自色が表現され、共有しやすいものになる**のではと考えた。

蒲中宣言

自分づくり

- 自らの行動・発言に責任をもとう

友だちづくり

- 友だちに思いやりをもって接しよう
- お互いの気持ちを言葉で伝え合おう

学校・家庭・地域づくり

- 生徒会活動などに積極的に取り組もう
 - 学校のことを家族に話そう
- (平成10年9月12日 臨時生徒総会採択)

2 蒲中学区CSの使命と目標

「地域の教育力」を有効に活用しながら、地域・保護者・学校とともに、児童生徒が「未来社会を切り拓くための資質と能力」を育成することをめざします。

地域・公民館と学校を両輪として、次代を創る子どもを取り巻く地域社会を再構築していく
(キーワード：自分づくり、友だちづくり、地域づくり)

そのために、次の2点を大事にします。

(1) 社会に開かれた教育課程（自分づくり、友だちづくり）

「よりよい学校教育を通して、よりよい社会を創る」という理念を「**学校と地域社会が共有**」し、**学校において身につけるべき「資質・能力」、「学び方」や「学ぶ姿勢」を明確に**しながら、**社会との連携及び協働**によりその実現を図っていくという「**社会に開かれた教育課程**」に基づき、実践します。

(2) 子どもをとりまく大人のチーム蒲中学区づくり（地域づくり）

子どもたちが安全・安心な気持ちで学校生活を過ごし、効果的な学習ができる環境を整備するとともに、子どもと大人と一緒に学ぶ場を地域に生み出す等、**学校と地域・公民館がそれぞれの強みを生かした協働を進め、次代に繋がる地域社会の創造**を目指します。

3 グランドデザイン (案)

蒲郡中学校区CSの3つの使命

—地域と学校がめざす子ども像—
 (チーム蒲中学区大人がともに目指すもの)



次代の地域社会を創る主体的で創造力あふれる児童・生徒を育てる

自分づくり	友だちづくり	地域づくり
【自律・自立】 ・学び続ける子、挑戦する子 (課題を自分でみつけ、 解決に向けて主体的動き出す子) ・ありたい自分に向かって 努力できる子 ・困難に逃げずに向き合う子	【尊重・受容】 ・聴き合い、学び合いのできる子 ・仲間を認め、受け入れて お互いに切磋琢磨できる子 ・自分も他人も 大事に(尊重)できる子	【協働・貢献】 ・他と協働して 新しい価値を創造できる子 ・自分の住んでいる地域に 誇りがもてる子 ・地域の人、もの、ことと 積極的に関わろうとする子

【熟議】

「自分づくり」「友だちづくり」「地域づくり」
 —わたしのできること、やってみたいこと—

学校、地域、私たちの組織等それぞれの立場から
 「できること、やってみたいこと、他と協働したいこと」
 等を話題に議論していただきました。

